

1 概要

- ・ 県内の各公立病院では、2023年度までに「公立病院経営強化プラン」を策定し、地域医療構想調整会議で協議することとなっている。
- ・ 今回、公立病院経営強化プランの策定に係る総務省の事前調査が実施されており、各公立病院から提出された策定状況を一覧に取りまとめたので、協議する。
- ・ なお、総務省の調査は全部で228項目あり、全ての内容を掲載した場合膨大な量となるため、地域医療構想と関わりが深い項目や、公立病院経営強化プランで新たに記載が必要となった項目等に絞り提示する。

2 提示項目

- (1) 病床数（許可病床数、稼働病床数、2021年度の病床機能報告）、病床利用率
- (2) 診療科目・機能等（診療科目、特殊診療機能、指定病院の状況）
- (3) 現状の課題等
 - ・ 近接する病院の役割・機能との重複による課題
 - ・ 地域医療構想実現に向けた当該病院の課題
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対応における他の医療機関との役割分担や連携における課題
 - ・ 上記3点の課題等を踏まえた取組及び取組による改善見込
- (4) 地域包括ケアシステム
- (5) 機能分化・連携強化の取組
 - ・ 改革プラン又は新改革プランに基づき実施済みの機能分化・連携強化の取組
 - ・ 公立病院経営強化プランに基づき今後実施予定の機能分化・連携強化の取組
- (6) 医師働き方改革への対応
 - ・ 医師の労働時間の把握状況、労働時間管理システムの導入状況 等
- (7) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
 - ・ コロナ対応等を踏まえた感染症対応における役割
 - ・ 平時からの取組として現在検討中の取組
 - ・ 感染症法改正による都道府県との協定の締結予定
 - ・ 感染症法改正における対応